

こころ豊かに

小さな学校でも児童生徒はお互いに大きな友情で結ばれています。県内の小規模校での心あたたまる活動を紹介します。



▲6年生も1年生もいっしょに 合唱奏

少人数を生かした教育活動

—川内村立川内第三小学校—

阿武隈高地の最高峰、大滝根山の山麓に川内村立川内第三小学校があります。

全校児童数は77名。飼育・栽培活動、合唱奏、お年寄との触れ合い活動などには学年を越えた縦割グループ活動が積極的に取り入れられ、これらの活動をとおして、子どもたちの友情と思いやりの心が育っています。

地域に根ざした教育をめざして

—小野町立浮金中学校—

地域に根ざした生きた教育をめざす小野町立浮金中学校では、奉仕活動や地域の活動に積極的に参加し、大きな成果を上げています。

特に、学校と地域社会が連携して行っている「山びこ学級」では、地域に伝わる伝統行事や工芸品の製作を通して、三世代間の活発な交流が図られ、生徒たちと周囲の人々と心の輪が広がっています。

▼百人一首に親しむ生徒たち



恒例のかるた大会で楽しく

—県立安積高等学校御館分校—

「あまつかぜ〜……」

毎年行われる校内かるた大会。全校生120名足らずの分校ならではの行事です。

ふだんはめったに触れることのない百人一首、上の句だけでとはなかなかいきません。中には相手の目の動きで素早く札を取るちゃっかり者もいて、古文は苦手という生徒も、楽しく試合を進めていました。



▶共同共汗で「クリーン作戦」



▶「やまびこ学級」で張子面づくりに取り組む